

学校だより



くるだ

令和5年5月1日 第2号
富士宮市立黒田小学校
富士宮市星山 1030-2
電話 0544-26-2670

学校教育目標

自分事として学び、共に活動する子

子供の発言には意味がある

— 夏のエダマメは最高だよ —

校長 米津 英郎

4月27日(木)の20分休みに私が池のところで作業をしていると、男子2名(2年3組)が駆け寄って来ました。その子供たちから、次のような質問を受けました。

・Aさん「校長先生、ぼくは生活科でミニトマトを育てます。いつから育てればいいですか。」

・Bさん「エダマメもいつから育てればいいですか。」

二人の足下を見ると、二人とも片方はしっかりと履き、もう片方はかかとを踏んでいます。お行儀のよい姿とは言えませんが、質問をしたくて急いで来たんだということがよく分かる場面でした。私は次のように返答しました。

・校長「ミニトマトやエダマメを育てる時期は、今がちょうどいいですよ。」

子供たちはぽかんとした顔をしています。どうも腑に落ちなかったようです。すると、子供たちは、二人で顔を見合わせながら、次のような会話を始めました。

・Aさん「ミニトマトは夏がおいしいよ。だから、(育てるのは)まだ早いかも。**夏にミニトマトを食べたいんだよ。**」

・Bさん「そうそう、**夏のエダマメは最高だよ。**」

大人びた言葉を発したので私は思わず笑ってしまいましたが、その様子をほほえましく感じました。そう感じたのは、次のような捉え方をしたからでした。

・今までの経験の中で、夏の暑い日にミニトマトやエダマメをおいしく食べたことのあるAさんとBさん。そこには、「夏のエダマメは最高だよ。」と話しながら楽しそうに食べている家族がいた。つまり、ミニトマトやエダマメを育てることは、家族との楽しい団らんにつながると考えている。

・ミニトマトとエダマメは、苗を植えるとすぐに収穫できると考えている。

私の捉え方は、適切ではないのかもしれませんが、**子供の発言には意味があると捉え、どんなに拙くても寄り添って子供理解に努めていくことが大切であると感じています。**

5月も子供たちの言動を肯定的に理解し、**学校教育目標「自分事として学び、共に活動する子」**に迫っていきたいと思います。ご理解とご支援をお願い致します。